

令和 4年度 (3年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	環境総務課
	施策	環境保全活動の推進		電話番号	087-839-2388
	基本事業	環境保全意識の啓発		事業実施主体	市
	事務事業	環境保全推進事業		事業期間	平成 28年度 ~ 令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	国が主催する6月の環境月間に併せて環境展を実施し、環境問題を考える契機を提供するとともに、環境活動団体との協働による環境学習の実施により、環境活動団体の支援やより一層の市民の環境意識の向上を図る。また、本市の環境の状況や環境保全に関する施策の実施状況等を取りまとめた環境白書の発行を行う。				
年度概要	環境展を開催するとともに、環境学習の実施や環境活動団体の支援を行うことにより、市民に対し環境意識の向上を図り、環境問題全般に関する啓発を行う。本市の環境の状況や環境保全に関する施策の実施状況等を取りまとめた環境白書の発行を行う。				
重点取組事業	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	ソフト事業 (法律による実施義務無)	

【事業の目的】

対象 (何を)	高松市民
意図 (どのような状態にしたいか)	環境活動団体や関係機関と協力して環境学習講座を実施するとともに、講座の開催等について市の広報紙やホームページに掲載し、参加者の増加に努めることにより、市民の環境意識の底上げを図る。

【事業の活動】

活動指標名 (具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
環境学習講座実施回数	回	58	20	39	79	79

【事業の成果】

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
環境学習講座参加者数	人	目標値	2,300	2,325	2,350	2,375	2,375
		実績値	2,529	381	1,058		
成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか) 4、8、9月にかけては新型コロナウイルス感染防止のため、多くの講座が中止となった。また出前講座の主催者が参加人数を制限したため、講座参加者数は前年を上回ったものの、目標値には達しなかったが、参加した市民を通して環境意識の向上は図られている。 (目標達成度)						(達成度) 45.0% 15点	
成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成 3年度 (決算)	令和 2年度 (決算)	令和 3年度 (決算)	令和 4年度 (予算)
トータルコスト	[千円]	37,946	28,641	30,886	32,385
(事業費)	[千円]	6,076	3,202	5,971	7,470
(職員人件費)	[千円]	31,870	25,439	24,915	24,915

【評価】

評価ランク (A ~ D)	D	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-----------------	---	-----------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

4、8、9月にかけては新型コロナウイルス感染防止のため、多くの講座が中止となったほか、参加人数の制限はあったが、環境問題に対する市民意識の高まりは依然高く、環境学習の実施や環境展の開催は市民にとって環境問題を考えるきっかけ作りとなっており、有意義であり、本市の環境の現状について市民に知らせる環境白書の発行は、継続が必要である。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

環境問題に対する市民意識の高まりに対応するとともに、ゼロカーボンシティの実現に向けて、より一層の意識啓発を行う必要があることから、継続する必要がある。

令和 4年度 (3年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	南部クリーンセンター
	施策	環境保全活動の推進		電話番号	087-890-2190
	基本事業	環境保全意識の啓発		事業実施主体	市
	事務事業	南部クリーンセンター環境学習事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	南部クリーンセンターの施設を活用して、ごみ処理の現状と課題を学習する機会を提供する。「エコハタル」の展示ギャラリーでは、環境パネル展や、環境に関する図書の閲覧、またパソコンによる環境クイズなどを利用して環境問題を考える機会を提供し、地球規模での温暖化対策の必要性を啓発するとともに、学習室では紙すきや工作などを実施して、楽しみながら、リサイクルを体験してもらい、参加者の環境意識の向上に寄与する。				
年度概要	利用者数(見学者・学習室利用者等) 年3,450人 体験学習事業 親子リサイクル工作会・施設見学会等自主企画事業 年20回程度 施設紹介・分別収集啓発用パンフレット印刷・配付 環境啓発DVD視聴				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)		

【事業の目的】

対象(何を)	市民
意図(どのような状態にしたいか)	ごみ問題を始めとする環境学習の場を提供して、広く市民の環境意識の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
エコハタル自主企画講座回数(見学会等を含む。)	回	19	13	10	20	20

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
エコハタル自主企画講座参加者数(見学会等を含む。)	人	目標値	475	500	500	500	500
		実績値	365	201	205		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 自主企画講座のうち、施設見学会を13回予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2回しか実施できなかった。参加者数については、親子リサイクル工作会の参加者が昨年より多くなったものの、施設見学会が2回しか実施できなかったことにより、目標を達成できなかった。			(達成度) 41.0% 14点				
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
トータルコスト	[千円]	7,889	15,213	15,360	15,424
(事業費)	[千円]	301	249	260	324
(職員人件費)	[千円]	7,588	14,964	15,100	15,100

【評価】

評価ランク (A~D)	D	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

エコハタル自主企画講座として、親子リサイクル工作会等を年間で20回予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、工作会8回、施設見学会2回の計10回しか実施できなかった。今後は、新型コロナウイルス感染対策を図りながら、魅力ある事業や広報についての検討が必要である。
--

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

NPO法人、管理運営事業者とも協働する中で、魅力ある施設見学会や、新たな自主企画事業の開催などを通じて、環境保全意識の啓発を推進する。
